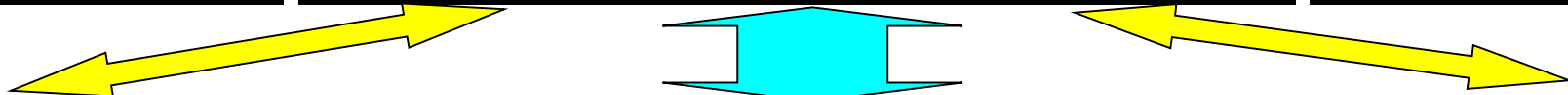


平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立竹谷小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国調査の結果から見られる課題 (1)各教科の状況 研究の国語だけでなく「考えること」を意識した授業展開、「書く」活動の充実を図り表現する力をつける。 読書タイム、作文タイム、計算タイムの徹底 (2)質問紙調査 予習復習の意識が低い ・保護者アンケートから見られる課題 家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学講師を招聘してアクティブラーニングの基本的な考え方及び実践等を学ぶ【(1)アクティブ・ラーニング講師招聘を活用】 ・OB校長を活用し、授業の流れを修正しながら、常に児童に考えさせる授業を進めていく。【(1)アクティブ・ラーニング講師招聘を活用】 ・OB校長から書くことにより思考力・判断力・表現力を培う国語科の授業づくりを学ぶ。 ・全学年が全員参加の公開授業と事後研究会を行い、縦のつながりを意識した授業研究をめざす。【(1)アクティブ・ラーニング講師招聘を活用】 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学力層に応じた学習支援の実施。特に中学年で同室複数指導で基礎・基本の徹底を図る ・振り返り・はてな・発展等を一体化したチャレンジノートを一冊持ち、内容が充実していくよう助言する。 ・朝読書・すき間読書・図書の時間・家読書など日常生活の中に読書活動を充実させる。 ・担任も一緒に、静かに集中して10分間正しい姿勢で読書タイムを行う。心穏やかにし、落ち着いた状態のまま1時間目の学習に入れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算タイムの充実 ・計算検定 年10回 学びの掲示板に合格者を紹介する。10回すべて合格の児童には3月に表彰を行う。 ・作文指導においては、原稿用紙の使い方と視写スピードカアップで「書き慣れる」ことをめざす。 ・作文タイムでは書くこと自体に喜びや楽しさを感じさせる取り組みを行う ・教室内の学習環境の充実 授業の基本 竹谷5か条 ふでばこの中 ・詩の朗読・暗唱活動に取り組む 	<p>本年度の具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況調査 (1)学力調査 平均正答率 目標値70% (2)質問紙調査 「授業がわかる」と答える児童の割合 目標値80% (3)視写スピード各学年目標達成率 75% <p>保護者アンケート 家庭学習の定着率 目標値80%</p>



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・夏季合同研修会の実施(各教科ごと授業研究) ・円滑な接続を図るための授業参観 ・入学前テストの検証を踏まえた小中合同授業改善の研修 ・6年授業体験 	<ul style="list-style-type: none"> (1)アクティブ・ラーニング推進支援 (2)先進校視察支援 (3)授業補助支援 (4)放課後等学習支援 (5)学力定着支援 (6)地域人材活用支援 (7)その他 	<ul style="list-style-type: none"> 大学講師を招聘してアクティブラーニングの基本的な考え方及び実践等を学ぶ OB校長を活用し、授業の流れを修正しながら、常に児童に考えさせる授業を進めていく。 ・OB教頭から書くことにより思考力・判断力・表現力を培う国語科の授業づくりを学ぶ。 <p>アクティブラーニング関連図書の購入</p> <p>中学年の協働的な学習において嘱託員による同室複数指導を効果的に行う</p> <p>放課後学習 2h×週1×25週 2h×週1×25週</p> <p>学習プリント集(計算・作文)</p> <p>学習支援に係る用紙・インク</p> <p>指導技術冊子製本</p> <p>図書ボランティア 12人分</p> <p>地域ボランティア 60回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上アクションプランの明示 ・家読書(週末家族全員で15分読書) ・チャレンジノートの活用による学習習慣と家庭学習の定着 ・学力調査結果の公表 ・地域の教育支援人材の朝の読み聞かせ(1年)活用